

みんなで ともに 乗り越えよう

浪江町を復興していくためには、町民の生活再建・健康管理、インフラの復旧、将来に向けたまちづくり、賠償問題、絆の維持など多くの課題があります。その中で、町がどのような取組をしているのかをお知らせします。

健康関連施設の配置計画について

2月27日、浪江町役場本庁舎において、町民と有識者で構成される浪江町健康関連施設整備検討委員会から町に対して、健康に関連する公共施設の配置計画等の提言をいただきました。提言の内容は、「心身健康な人たちであふれるまちづくり」を基本コンセプトとし、地域スポーツセンター周辺を整備すること、ふれあいセンターなみえ運動公園を復旧・整備しつつ、介護関連施設、図書館、公民館、キッズパーク、駐車場等を一体的に整備していくものとなっています。



☎ 企画財政課企画調整係 ☎ 0240(34)0240

町内で営業を開始しました



焼酎BAR ひかり家

町民の皆さんへ
浪江駅前に「焼酎BAR ひかり家」を開店いたしました。夜は、食べて、呑んで、歌って…
昼はカラオケ喫茶の運営をいたします。
浪江町の皆さんに少しでもお役に立つことができ、笑顔が増えるきっかけになればと考えております。

焼酎BAR ひかり家 店長 佐々木光俊
〒979-1521 浪江町大字権現堂字上続町7-1
カーニバルステーション1F
☎ 0240(23)7277
【定休日】日曜日・祝日

☎ 産業振興課商工労働係 ☎ 0240(34)0247

町の農林水産業 再生に向けて

☎ 農林水産課農政係 ☎ 0240(34)0245

トルコギキョウの 2月定植が始まり ました

浪江町で新たに花き栽培を始める荒川勝己さんのほ場で、トルコギキョウの初定植を行いました。



震災前、荒川さんは請戸地区にお住まいでしたが、避難先から浪江町に帰還を果たし、加倉地区で営農を再開しています。再開には、原子力被災12市町村農業者支援事業に申請、採択を受けてパイプハウスなどの資材準備に至りました。浪江町は温暖で日照量が豊富なことから、花き栽培に適しており、2月定植の作型が可能なのは、県内では浜通りのみです。荒川さんは、本年6月からの出荷を予定しています。

Jinふるーる ブランドが優秀賞を 受賞しました

NPO法人Jinふるーるはトルコギキョウ、ストック、キンギョソウなどの花きを東京の大田市場に出荷しています。

この度、日本で第一位の取扱高を誇る㈱フラワーオークションジャパンから、商品の高品質No.1を認められ、Jinふるーるの持つ花きブランド「Jinふるーる」が年間優秀賞（FAJ・オブ・ザ・イヤー2017）を受賞しました。



品質の高い花きは、大変良い価格で取引されており、花き栽培で営農再開を目指す方々にとって、Jinふるーるのブランドは、大きな目標となっています。

青年等就農計画制度 認定新規就農者第1号 鈴木好道さん(苜宿)

青年等就農計画制度は、新規就農者を増やし、地域の担い手として育成する目的で、平成26年度にスタートしましたが、町全域に避難指示が出ていたため、これまで利用者がいませんでした。この度、3月1日に町で初めての新規就農者として、鈴木好道さんを認定しました。鈴木さんは、震災前町内で製造業を営まれていました。町の避難指示が一部解除になり、事業の再開は困難でも町の復興のために自分ができることをしたい、戻ってくる人たちのために町の環境を整えたい、という思いから農業にたどり着いたということです。



今後は、所有地のほかにも農地を借入れし、妻の幸子さんと一緒に露地で榎、ビニールハウスでストックやトルコギキョウといった園芸品目の栽培に取り組んでいく計画です。

「農業経験が無くてもできる農業があるよ」「町に戻りたい人・新規参入したい人のモデルになりたい」と好道さんと幸子さん（苜宿のご自宅にて）

ここからは広告です。

水素水サーバー い〜水 H₂ 販売及びレンタルを始めました！

カラダに水素、できたての水素水。
安全 安心 健康

「い〜水 H₂」とは

「い〜水 H₂」は、一般の水道水やガロンボトルの水から水素を豊富に含む水を生成する画期的なサーバーです。本サーバーは水を純水にまでろ過した上で、溶存水素濃度の高い中性の水素水を作ることができるので、口あたりの良いまろやかな水素水をお楽しみいただけます。

誠意と技術で奉仕する
東北工業建設株式会社

詳細は当社ホームページをご覧ください！

東北工業建設株式会社 検索

お問い合わせは 環境衛生事業部まで
TEL.024-573-4127

浪江町農業委員会の 農業委員・農地利用最適化推進委員を募集します

農業委員会に関する法律の改正に伴い公選制が廃止され、また、現場活動を担当する農地利用最適化推進委員が新設されました。

浪江町農業委員会は、現職の委員の任期が満了となる平成30年7月からこの新制度へ移行するため、農業委員および農地利用最適化推進委員を次のとおり募集します。

	農 業 委 員	農地利用最適化推進委員
定 数	12人	18人 ※担当地区ごとに募集（別表参照）
主 な 業 務	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業委員会総会に出席し、農地の権利移動や転用などに関する議案を審議する ● 農地利用の最適化のための活動を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ● 担当地区内で農地利用の最適化のための現場活動を行う ● 農業委員会総会に出席し意見を述べる
応 募 資 格	<ul style="list-style-type: none"> ● 原則、浪江町内に住所を有する者 ● 農業に関する識見を有する者 	<ul style="list-style-type: none"> ● 原則、浪江町内に住所を有する者 ● 農地等の利用の最適化に熱意と識見を有する者
任 命・委 嘱	町長が議会の同意を得て任命する	農業委員会会長が委嘱する
報 酬	基本年額 204,000円	
任 期	平成30年7月8日から3年	
募 集 期 間	平成30年4月2日(月)～平成30年5月1日(火)	
申 込 み 方 法	<p>所定の用紙に必要事項を記入の上、持参または郵送により提出してください。 【提出先】浪江町農業委員会事務局（農林水産課農政係内）</p> <p>※申込書・募集要項は農業委員会事務局窓口および各出張所窓口に備え付けてあるほか、町ホームページからも入手できます。 ※申込みに当たっては募集要項で詳細をご確認ください。 ※持参の場合の受付時間 8時30分～17時15分（平日） ※郵送の場合 5月1日(火)必着</p>	
留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> ● 身分はどちらも町の非常勤の特別職となります。 ● 農業委員と農地利用最適化推進委員は両方に申込みが可能ですが、兼任はできません。 	

(別表) 農地利用最適化推進委員の担当地区ごとの募集人数

地 区	浪 江	幾世橋	請 戸	大 堀	苧 野	津 島
募 集 人 数	2人	3人	2人	3人	5人	3人

☎ 浪江町農業委員会事務局（農林水産課内） ☎ 0240(23)5706

ここからは広告です。



カーテン・ブラインド・絨毯
クロス工事・リフォームもやっています。

室内装飾全般
(有)ワタナベ装商
代表取締役 渡部 寛

浪江事務所 〒979-1512
浪江町大字北幾世橋字中谷地31
TEL 0240-23-6821

原町事務所 〒975-0015
南相馬市原町区国見町2丁目87-3
TEL 0244-26-9773
FAX 0244-26-9774